

棚田地域を みんなで盛り上げる

棚田を維持するには、農業のみに着目するのではなく、棚田を核とした地域振興が重要です。ここでは、複数の農村集落が集まり、農地の有効活用や新たな農産物の生産、地域のコミュニティ維持を検討する一方で、観光イベントや農業体験も企画し、地域内外の人々との交流が活発な葛城山麓地域を紹介します。

葛城山麓地域

7つの集落で構成される葛城山麓地域では、スペルト小麦などの新たな農産物の生産、ひまわりやソバの栽培による景観保全、地域の魅力発信など、お互いに協力しながら様々な活動を展開しています。中でも、地域の福祉団体や店舗なども参加し、毎年開催する「葛城山麓ウォーク」は約1000人が参加し、地域外から来た人との交流で棚田を盛り上げています。

7つの集落による協議会活動「カツラギセブン」

- 7集落（南藤井、寺口、山田、平岡、山口、梅室、笛吹）と、葛城山麓地域協議会「カツラギセブン」のオリジナルロゴをつくっています。
- 会合を毎月開催し、各集落から集まって地域の共通課題の解決に向けた取組を検討しています。
- 令和2年には、特徴ある優れた活動として第4回近畿「ティスカパー農山漁村の宝」に選定されました。また、「つなぐ棚田遺産」にも選定されています。



農地の景観保全、有効活用

- 遊休農地に密集してひまわり畑を栽培。7月頃が見頃です。
- ソバの花は10月から11月にかけて咲きます。
- 葛城市の特産品である菊も栽培しています。7.ごまは令和元年から生産しています。



葛城山麓ウォーク



- 参加者はスタンプラリーマップを片手に、各集落をめぐる。
- 各集落にはチェックポイントが設けられ、試飲、農産品販売などが行われています。

古代小麦の生産・加工品開発

- 遊休農地を活用し、差別化を図った作物の生産を目指し、小麦の原種と言われるスペルト小麦の栽培に取り組んでいます。
- 地域で生産されたスペルト小麦でつくったパンの試食会を開催。



棚田農家のメッセージ



7つの集落のみんなで
地域のこれからを考えて
行動しています

いけはら ひろふみ
葛城山麓地域協議会「カツラギセブン」 会長 池原 博文 さん

7つの集落が連携して、山麓の農地を守っていくため、「私たちの地域がどうあるべきか」をみんなで考えて、魅力発信に向けて地域振興の取組を検討し、実践しています。
各集落とも農家が減ってきて、棚田を維持管理するのが年々難しくなっています。今後は、葛城山麓ウォークやスペルト小麦などの農産物の生産・加工品開発などの活動に加えて、地域を守るための活動も重要になってくると思っています。

Contact 連絡先

葛城山麓地域
奈良県葛城市の南西部
f @katsuragi7

Data
傾斜 1/20 以上の棚田 13.58ha
人口 1,143 人 (令和2年)



Access アクセス

近鉄新庄駅より20分、JR大和新庄駅より徒歩30分
南阪奈自動車道 葛城インターチェンジより車で5分

Check! ミニ情報

葛城山麓ウォーク
毎年、祝日の11月23日（勤労感謝の日）に開催。
参加費無料。
7つの集落をめぐる10kmのコースで、各集落のスタンプラリーと地域の特産品販売を行います。